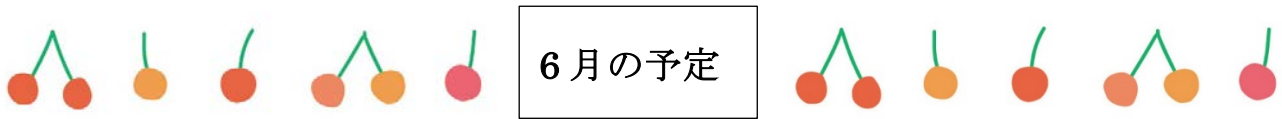


初夏を感じる時期になりましたね。また、梅雨の季節でもあります。気温の変化などに配慮し体調を整えましょう。今月も盛りだくさんの計画を立てておりますので、ぜひ支援センターに遊びに来てください。



**5日(水) 劇団「風の子」観劇会** [場所] 保育園遊戯室 [時間] 9:50~12:00

園児と一緒に「ぱらりっとせ」を観劇します。10:00から劇は始まりますので、いつもより少しお早めにお越しください。詳細は増刊号をご覧ください。

**10日(月) 家庭訪問**

家庭訪問とは、お宅に訪問をして、お子さんと遊んだり、子育てのお話をお伺いしたりします。困っていることや子育て相談などもお聞きしますので、お気軽にお声をかけてください。

**13日(木) 木育ひろば** [場所] 支援センター [時間] 10:00~12:00

浅野美香子先生に木育についてのお話を聞いたり、木のおもちゃでいっぱい遊びましょう。

**20日(木) スキンシップたいむ** [場所] 支援センター [時間] 10:00~12:00

看護師で助産師の栗山ママこと栗山和美先生に、スキンシップの大切さやからだの不思議について教えてください。お子さんはもちろんおかあさんのからだについても相談できますよ。また、プレママの参加もお待ちしています。今月のテーマは「いい子ね〜♪と名前のすてきと不思議」ママのセルフケア「可動域を広げる首のケア」です。

**26日(水) 親子アロマ** [場所] 支援センター [時間] 10:00~12:00

佐藤麻衣先生にアロマのお話を聞きましょう。今回は虫除けスプレー・ポプリ・カウンセリングアロマクリームを作ります。費用は500円です。申し込みが必要です。(先着15名)



「ぎっこんぱっこん、しりもちどん」してあそんだよ!



「ひこうきぶんぶん」きもちいいよ!



「おさんぽにいこう」とおかあさんと歩いたよ!



### 人形劇の観劇会のご案内

劇団「風の子」の「ぱらりっとせ」を観劇します。おもな内容は「昔あそび・わらべうた・郡上おどり・おはなし（はなさかこぞう）です。ぜひ、誘い合ってお越しください。

【日時】 6月5日(水)9:50～

【場所】 牧谷保育園 遊戯室

10:00には開演になりますので、お早めにお越しください。

### 木育ひろば

おもちゃコンサルタントで「といろ」代表の浅野美香子先生をお招きして『木のおもちゃであそぼう』を行います。木に触れ、木のぬくもりを感じていただきたいと思います。今回はたくさんの木のおもちゃで遊んで、木育のすばらしさや必要性などもお話していただきましょう。

【日時】6月13日(木)10:00～

【場所】子育て支援棟

### 親子アロマのご案内

夏の時期は、蚊やブヨなどの虫さされに困りますね。今回は佐藤麻衣先生に虫よけスプレー・虫よけポプリ・カウンセリングアロマクリーム作りを教えてください。予約が必要です。

【日時】 6月26日(水)10:00～

【場所】 子育て支援棟

【費用】 500円 (☎37-2002)



### <熱中症について>

気温も湿度も上がるこの時期、注意が必要なのが熱中症です。体温が上がると汗を出し汗が蒸発するときに熱を奪う仕組みを利用して、体温を調節しています。ところが、体内の温度が上がりすぎると、汗をかくだけでは体温調節が追い付かず、体の働きに支障をきたします。これが熱中症です。

### <熱中症の重症度と手当>

I度	II度	III度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔色が悪くなる</li> <li>・手足がつつたり、けいれんしたりする</li> <li>・立ちくらみやめまいがする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おう吐する</li> <li>・ぼんやりして、呼びかけても反応が鈍い</li> <li>・だるくなる</li> <li>・吐き気を催す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識がなくなる（呼びかけても体をたたいたりしても反応がない）</li> <li>・体温が38℃以上になり、下がらない</li> </ul>



応急手当ををする	病院に連れていくか、救急車を呼ぶ
<p>屋内の涼しい場所か、日陰に子どもを運び、首、わきの下、足のつけ根に保冷剤などを当てて冷やします。顔色が青白く皮膚がひんやりしている場合は、症状がやや進行しているおそれがあります。意識がはっきりしていて口から飲めるなら、水分やスポーツ飲料をとらせましょう。</p>	<p>II度、III度にあてはまる症状がある場合には、すぐに救急車を呼びます。また、応急手当をしても回復しない場合も、すぐに病院へ。熱中症の治療では、点滴や血液検査が必要になる場合があるため、点滴や血液検査ができる大きな医療機関を受診するほうがよいでしょう。</p>